

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【春野小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 文章の読み取りに課題がある。 過去の学年の学習内容が定着していない児童への支援が必要である。 <指導上の課題> 授業において習熟に差があり、学習内容の定着に課題がある。学習者用端末の日常的、主体的な活用の頻度に課題がある。	⇒ 個別最適で協働的な学びへの授業改善をする【学力・学習状況調査(国・市 各年1回)や自校調査(単元終了毎 とりまとめは12月)】 文章を読む・書く体験の充実を図る【よい授業アンケート 12月】 ICT活用による、過去の学習内容の定着【ICTタイム実施(木曜朝)】 端末使用のルールづくり・有効活用【ICTタイム実施(木曜朝)】 繰り返しの学習の積み重ねを意識して安定した学力の定着を目指す。【授業後・単元後の振り返り】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 調査から「書くこと」に課題が見られた。 <指導上の課題> 自分の考えを書くことや相手の考えを読み取る活動が十分でない。何をすべきか、どこまで目指すかを児童が理解して進められるように示す必要がある。	⇒ 様々な教科において、書く活動・文章を読み取る活動を意識して取り入れる。【導入・振り返りでの実施】 自分の課題を設定・選択する力をつける【導入・モデル学習】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)
夏季休業中

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)